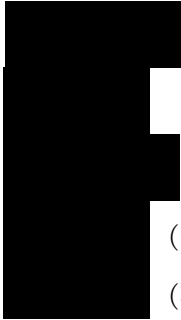


しあわせの里

令和 6 年度 第 4 回運営推進会議録

1. 開催日時 令和 6 年 10 月 18 日（金）16:00～17:00
2. 開催場所 しあわせの里交流スペース
3. 参 加 者 
 - （高齢者福祉課）
 - （あんしん支援センター）
 - （利用者）
 - （管理者）
 - （事務員）

【議題】

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について（Ⅱ）
2. その他
 - ★ 利用者状況及び行事 について

【内容】

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙の A3 サイズ資料に入力してお示ししております。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前にはケアマネや支援を行っている介護事業所から情報収集を行い、お一人おひとりの人物像の大枠を把握するよう努めている。 また入所後は、そのかたの望む生活のありかたはどういうものかを、日々の会話の中から、ご本人の意向や要望を汲み取り、支援に反映している。意思表示の難しい方には、生活歴を参考にし、家族からの聞き取りや本人の表情を読み取るなどして把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、各利用者の担当職員が作成しているモニタリングについては、計画作成担当者及び管理職も内容を吟味している。チームでお一人おひとりのサービスの質の向上に取り組んでいる。 介護職や看護職等の専門職の意見やアイデアのみならず、家族や馴染みの関係者等の思い出話などからも、より良い介護計画立案のヒントを得るよう心がけている。 令和6年9月末において要介護1～5の利用者9名が入所中であるが、各利用者の介護度や特性及び好み等を考慮した介護計画の立案を原則としている。その内容は一律的ではなく、個別性に富んだものになるよう強く意識している。	■■■■■(高齢者福祉課) 意見やアイデアなど反映したら家族に提示していますか ホーム長 はい同意書と一緒に来所または郵送でしています。半年に一回か3か月程度でその都度サインをもらっています。 郷原委員(高齢者福祉課) 意見もですか？簡単に通りますか。 ホーム長 希望等は家族にも書いてもらいます。 毎月モニタリングは部屋担当の職員がしています。	A. 十分にできている(満場一致)	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの気づきを記録に残し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。ケアのあり方については、ケア会議で評価して、プランの見直しに活かしている。記録の書きかた(主観的表現より客観的表現に努める等)も管理職が指導し、全職員の記録の力の平準化を心掛けている。特変時には、より一層細やかな記録を残すよう心掛けている。それが、その後の計画立案や見直しにも繋がっている。		B. ほぼできている(満場一致)	■■■■■(あんしん支援センター) 書き方にばらつきがあるからですか？マニュアルはありますか？ ホーム長 ありますがマニュアル通りに行かないこともよくある、また職員によってニュアンスの違いなどもあるのでBとなっています。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	突発的な受診でご家族が対応できない時など、必要に応じて通院送迎等の支援を行っている。その時々ニーズに対して柔軟な対応を心掛けている。看取り期の食欲が低下した利用者の方に対しては、一律の食事メニューを提供するという概念を撤廃している(食費の徴収も中止)。ご家族からの協力を得ながら、ご本人が向くような食材を調達している。ある利用者の方については、入浴は夜間の好きなタイミングで行えるよう支援している。また洗濯機の使用は上手くできないが、洗濯機の中に洗ってないと思われる洗濯物があれば職員が介入するなどして、洗濯も自らのタイミングで行えるよう支援している。身体的な自立度の高い利用者の方に対し、ある程度自由に敷地内を散策されるよう対応している。所在不明や交通事故のリスクについては、ご家族への近況報告の際には、ある意味特別な対応をしていることを都度ご理解いただき、了承を得るようにしている。	■■■■(高齢者福祉課) 病院受診は家族ですか ホーム長 サービスでやっています人手が足りない時には家族にお願いしたりしています。総合病院のどの場合はご家族に付き添いをお願いしています。 ■■■■(高齢者福祉課) 洗濯機は自分で操作されますか ホーム長 される時も在りますが最近は難しくなっています。職員が付き添ってします。洗濯を干すのは好きなようです。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ㉡. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に出雲市職員の方やあんしん支援センターの方に加え、地域の福祉に携わる近隣住民の方にも参加していただくことで、地域の様々な情報を得ることができている。現在もコロナが五類へと移行したものの、ボランティアをはじめ、地域との交流ができていない現状がある。利用者の方の散髪については、法人内事業所の元利用者様ご家族であった理容師の方に依頼している。当事業所に出張していただくスタイルで実施しており、当日実施者がひとりであっても来所される。春には利用者の方のゆかりの場所や名所(愛宕山の桜、斐川チューリップ)へのドライブ企画を実施している。その方にとってより豊かな暮らしをするために必要な地域資源は何かを把握するよう努めている。	■■■■(あんしん支援センター) コロナ禍で交流ができていないようですが前はどれくらいされていたのですか ホーム長 ボランティアや行事の余興などをお願いしていました。例大祭は先日来所され、にぎわいました。地域合同避難訓練も今後はしていきたいと思っています。		

21	かかりつけ医 の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所にあたり、かかりつけ医の選定はその方を支えるうえでの大きな確認事項と捉え、利用者およびご家族の希望を踏まえ決定している。看取り介護も提供する事業所として、かかりつけ医との連携は必須であり、日常より良好な関係づくりに努め、適切な医療が受けられるように支援している。			
22	入退院時の 医療機関との 協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「入院後3ヶ月間は対象利用者のために部屋を確保することが可能」、との方針を医療機関に伝え、退院までの治療計画を立ててもらおうよう働きかけている。入院時には、情報提供を作成し、医療機関に提出している。入院中は病院の地域連携室の相談員とこまめに情報共有して、回復状況の把握に努め、スムーズに退院できるように環境を整えている。ご家族にはその都度内容報告を行うようにしている。退院にあたっては、入院先のDrからかかりつけ医に向け情報提供もしていただくようにしており、対象利用者への医療支援が切れ目なく提供できるよう努めている。 【補足】 退院前カンファレンスには、極力複数の職員での参加することを心がけ、再び始まる当事業所での生活が安心安全なものになるよう努めている。		A. 充分にできている(満場一致)	■■■■■(高齢者福祉課) 3ヶ月は確保でのち退所ということですか ホーム長 3ヶ月を越える入院の方はその後医療的ケアが必要になられる方がほとんどです ■■■■■(高齢者福祉課) たん吸引が必要な方は受け入れできませんか ホーム長 そのような医療的ケアがある場合は断ることがあります。 ■■■■■(高齢者福祉課) 3ヶ月以上入院の方はおられますか ホーム長 ほとんどおられません。3か月以内に帰ってこられます。
23	重度化や終末期に向けた 方針の共有と 支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針、看取り介護の指針を定めている。看護師が1人の事業所であることの理解を得たうえで、当事業所として旅立たれるまでの期間にどのような支援ができるか伝えている。また、全職員が当事業所としての支援のあり方を認識共有している。こまかな状態の変化を注視し、節目には都度話し合いの場を設けている。その時の状態に応じて、ご家族の意向を確認したうえで医療機関との連携も図りながら、何が本人にとってより良いことかを考え、出来る範囲での対応を心がけている。終末期には、家族が付き添いやしやすい環境整備に重点を置き、家族控え室も提供している。また、本人にゆかりのある方が訪ねやすい雰囲気づくりにも努めている。		A. 充分にできている(満場一致)	■■■■■(あんしん支援センター) 入所の際に確認をとっていますか ホーム長 説明はしています。 古川委員(あんしん支援センター) 家族控室はどのくらいの利用がありますか ホーム長 家族が多いと使われることもありますが皆様で付き添われることがほとんどです。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所職員は、消防署署員や当法人の応急手当普及員が主導して開催する救急救命講習会を定期的に受講している。その機会を活用し、AEDの使用体験も行うことで、事業所に設置している本機の有効性が増すよう取り組んでいる。 【補足】 近年コロナ過により開催なかったが、今年度、当法人の応急手当普及員が主導した救命救急講習開催あり。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所が土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定されていることを全職員が認識したうえで、有事の際の対応を検討するよう取り組んでいる（BCP策定し周知）。毎年の地域合同避難訓練（火災想定）で近隣住民（消防署、消防分団含め）との協力体制を築いている。訓練後には反省会で意見を出し合い改善を図るようにしている。有事の際に、しあわせの里・あかねの里・平田ほのぼのデイサービスの3事業所の施設や人員をフル活用できるよう災害想定訓練も3事業所合同で実施している。また、役職者のグループラインを作りネットワークを活用できる仕組みを整えている。なお、各事業所単位でも緊急連絡網を整備している。法人単位で年間計画に沿った備蓄品（粥、飲料水、シチュー）を購入している。グループホームリビングと事務所には、それぞれ音声告知端末、出雲市防災無線を置き、情報収集できる環境も整えている。 【補足】 地域合同避難訓練は令和2年度からコロナ過により中止していたが、昨年より人数を制限しながら訓練を再開した。今年度も予定している。災害想定避難訓練も昨年度はしあわせの里で土砂災害が起きた想定で実際に利用者をデイサービスの社用車で迎えに来て職員と非難する訓練を行った。こうした訓練を継続して行うことで避難方法を職員が身につける。	（高齢者福祉課） 土砂崩れの危険がある場合の避難場所はどこですか ホーム長 基本的にはコミセンですがあかねの里にしています。認知症の方が多いのでコミセンではなかなか対応が難しいと考えています （高齢者福祉課） 車で移動されますか ホーム長 早めに移動するよう心がけています （高齢者福祉課） あかねへ避難訓練をされたことはありますか ホーム長 今年3月にやりました。	B. ほぼできている（満場一致）	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親しみの中にも目上の方に対しての適切な言葉かけと対応を心がけている。出来ない部分ではなく、できる部分に着目することに努めている。そうすることで得られる満足感が尊厳の保持につながるものと理解している。それぞれの人格を尊重し、排泄や入浴などは特に羞恥心に配慮したケアを行っている。認知症の利用者の方は、短期記憶の欠如の傾向があることを理解し対応している。日々繰り返される同じ質問についても、新鮮な気持ちで真摯に対応できるよう心がけている。		A. 十分にできている（満場一致）	■■■■■（あんしん支援センター） 認知症日々大変だと思いますが心のケアで心掛けていることはホーム長寄り添って思いを汲みとることを心がけています 言葉使いも注意しています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方や家族の意思を尊重し、無理強いせず一人ひとりに合わせた生活をしていただいている。言語的なコミュニケーションが困難な方については、生活歴や嗜好の情報収集はもちろんのこと、支援を行った際の表情や反応を観察することで、より希望に添ったケアの実現に努めている。またその日の睡眠状況や体調に合わせ、ご本人の思いを尊重した対応をしている。入浴や食事時間、外出などは、可能な限り希望に添えるよう努めている。			